火災がおきたら 早い通報と応急消火を

降雪時には、町内あげて除雪を

冬期間は、各家庭とも火気の使用が多く、そのため火災も多く発生しています。

一方、近年、交通量が増加し、そのうえ雪が降ると道路上は、いっそう混乱して、消防車の到着が遅れ、大火に発展するおそれがあります。

全市民が、火災の防止に注意するとともに、万一出火してもぼやのうちに消火できるよう、早い通報と応急消火をお願いします。

また、降雪時には、消防車が通れるように、町内あげて除雪にご協力ください。

また、十二月十五日から来年一月十五日までは「年末年始の防災強調期間」です。つぎのことに特に注意し、火災を予防しましょう。

▼火を使用しているときは、その場を離れないでください。

▼火を使用する前に、設備器具に異状がないか点検をしてから使ってください。また、雪で煙突が折れたり曲ったりしていませんか。

▼石油ストーブは家庭全員が正しい取りあつかいを知り、安全な場所で使ってください。給油、持ち運びは、必ず火を消してから行なってください。

▼電気こたつ、電気ストーブ、アイロンなどは用がすんだら、コンセントからはずしましょう。

また、ガスこんろ、電気こんろは、こたつに使わないでください。

▼たばこの投げ捨て、寝たばこはいけません。特に酔った人の寝たばこは、火事のもとです。

▼屋外の引込線は、常に点検し、ショートや漏電をおこさないようにしましょう。

▼揚げ物中、来客があったり、電話がかかってきたとき、そのままにして応接してはいけません。ちょっと離れるにも火を消してください。

▼外出するとき、夜お休み前には、いま一度火の元を確かめましょう。夜十時は、消防の時間です。

▼万一に備え、満水バケツか、消火器を準備してください。

▼道路は消防車が通れるよう、また、消火栓、防火水そう、防火井戸は、皆さんの財産をまもる大切な施設ですから、町内ごとに協力して除雪してください。

▼消火栓など、ふたの凍結を防ぐため空俵、カマスなどでおおってください。

▼消火栓標識が雪で埋った場合竹棒に赤い布をつけて標識にしてください。

▼雪囲いや積みあげた雪で避難口がふさがれないよう注意してください。

▼消防水利に指定されている場所には、雪を捨てないでください。

▼積雪時に不良駐車してありますと、消防車が通行できませんので、各人で注意してください。

電気を上手に使いましょう！

—ムダをなくし、資源を大切に—

石油危機に伴ない、各事業所や家庭の電気消費の節約も呼びかけられています。

東北電力の調べでは、同社の全管内の一か月使用電力量約三十億キロワットを一〇%節電することで約七万キロリットル（ドラムカン三十五万本分）の重油が節約できるものと見込んでいます。

家庭内でも、テレビや冷蔵庫などに、ちょっとした注意で、電気のムダ使いを防ぐことができます。電気を上手に使い、家庭用電力消費のムダをなくしましょう。

電気の上手な使い方

〔テレビ〕 手まめにスイッチを切りましょう。瞬間受像式テレビは、常に五〜一〇Wの電気が流れていますので、長時間見ないときは、電源をコンセントから抜いておきましょう。

〔こたつ〕 スイッチを入れればすぐ暖まるので、席を立つときはスイッチを切りましょう。また、こたつにマットなどを敷いて、畳に逃げる熱を防ぎましょう。

〔冷蔵庫〕 ドアの開閉はできるだけ少なくし、開放時間を短かくしましょう。また、背面の放熱器のホコリなどを掃除しましょう。

〔掃除機〕 集じん袋やフィルターを手まめに掃除し、集じん袋にゴミをためないようにしましょう。また、掃除の前に、部屋を整理しましょう。

〔洗たく機〕 洗たく物の量や汚れに応じて、タイマーを調節しましょう。すすぐ前に脱水すると、すすぎが短かくてすみます。

〔街路灯、門軒灯〕 昼間のつけっ放しはやめ、できたら自動点滅器などを利用しましょう。

機器別使用電力量（試算値）

器具の種類	容量(W)	1日にこれだけ使うとして 使用時間	消費電力量(WH)	1カ月消費電力量(KWH)
けい光灯	20	6時間	150	4.5
白熱電灯	60	6時間	360	10.8
電気がま(1.8ℓ)	600	42分	420	12.6
トースター	600	15分	150	4.5
アイロン	600	30分	300	9.0
やぐらこたつ	400	2時間48分	1,120	33.6
あんか	60	4時間	240	7.2
電気毛布	100	3時間18分	330	9.9
掃除機	600	20分	120	3.6
洗たく機	200	20分	67	2.01
冷蔵庫(100ℓ)	145	5時間	725	21.8
ミキサー(800cc)	210	10分	35	1.05
電気ストーブ	600	4時間	2,400	72.0
パネルヒーター	1,500	6時間	9,000	270.0
カラーテレビ(トランジスタ20型)	150	5時間30分	825	24.8
白黒テレビ(トランジスタ17型)	70	5時間30分	385	11.6
ステレオ	50	2時間	100	3.0

1KWH10円65銭

除雪にご協力を

新潟気象台によると、今冬は大雪となるおそれがある—とのことです。

新潟市では、まい年、市民生活の安定と交通の確保を図るため、除雪対策本部を設けて、種々の対策を講じています。

しかし、何といっても、一番困るのは、臨時駐車禁止区域などでの、駐車。このため、除雪車が通れないで、大幅に除雪が遅れたり、除雪ができなかったりして、非常に不便な生活を強いられてしまいます。

路上駐車をやらないようお願いいたします。

また、除雪車が通るとき、自宅前の雪山を崩していくことがありますが、道路の除雪には、市民の皆さんのご協力がどうしても必要です。たいへんご迷惑でしょうがご容赦ください。

保険料を引上げ

—国民年金

年金額の増額にともなって、国民年金の保険料が引上げられます。

定額分が、現行の月額五百五十円から九百円に、所得比例は、附加年金と改められ、現行の月額三百五十円から四百円に、それぞれ引上げられます。

定額分保険料の引上げ率は、一・六三倍、附加年金額は、一・一一倍で、年金額は、二・五倍に増額されますが、保険料は、できるかぎり低くおさえてありますので期限内に納入くださいますよう、被保険者皆様方のご協力を、お願いいたします。

なお、第三期の保険料とりまとめ月は、二月末日です。

養護施設にみかん寄贈

新潟青果県協会

新潟市上所島の新潟青果県協会（大矢良雄会長）は、十日、市内の養護施設などに、合わせて五十箱のみかんをプレゼントしました。

午前十時半過ぎから、市役所特別応接室で贈呈式が行なわれ、同協会から渡辺市長に目録が手渡されました。プレゼント先は次のとおりです。

松風園、済生会、松鶴荘、明生園、有明荘、聖園天使園、若草寮、新潟学園、はまぐみ学園、藤見母子寮、ろうあ学校、もう学校、養護学校。

以上の十三施設です。どうもありがとうございました。

水道管に冬仕度く

—マイナス四度で凍結—

水道管は寒さが大敵です。気温がマイナス四度ぐらいになりますと、凍結事故が多く発生します。特に注意しなければならないのは

▽むき出しの水道

▽戸外の水道

▽風あたりの強いところにある水道

▽北側にある水道

—などにある水道管です。

水道局では、図のように完全な防寒装置をおすすめしています。

一組み五百円で、水道局、日本海タワーで販売しています。

おやすみ前には…

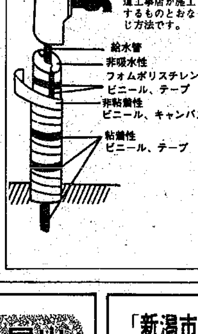
強い冷え込みが予想される夜は、おやすみ前にあらかじめ蛇口から細目（わりばしの太さ）に水を出しておくのも凍結を防ぐのに効果的です。

凍って水が出ないときは…

蛇口にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をかけて、少しずつ熱い湯をかけてください。

ハレツしたときは…

公認水道工事店または水道局へご連絡ください。



市営住宅の申込み

一月は五日から

市住宅課では、既設の市営住宅の入居申込みの受付けを、毎月一日から五日まで行なっていますが、来年一月の申込み受付けは、五日から十日までです。

申込書など必要書類は、住宅課に用意してあります。

新潟再発見 ▷13◁

旧日和山

番人が来港船泊を監視

西に佐渡、東に羽州の山々 南に弥彦山・信濃川の佳景

当時新潟の川口はいまの本町通十四番町付近にあったようで、いまの東堀通十三番町の旧日和山はその頃川口ただ一つの高台で、漁師や船舶関係者は毎日この山に登って日和見をしたり、入港船舶を眺望したもので、日和山の呼称も日和見山からの起因であることは申すまでもない。

その後、享保五年には新潟の廻船問屋は専任の入港船監視人を日和山に置いて入港船を報告させ、それによって迎えの小舟を出すことにした。この監視人が川口で漁猟に従事していた仁太郎で、世襲して後日新潟の水先案内者水戸教の伊藤仁太郎となった。享保五年頃の新潟港は、阿賀野川が信濃川と一つになって新潟から海にそそぎ、港の水深は深く、水量も豊富で千石船が自由に入港できた程の良港で、港の黄金時代の末期であったが、それから十年後には阿賀野川がその河口を松ケ崎に変えてしまったので、新潟では川の流れが急に緩やかになり、一時は一尺以上も減水したといわれるが、これを期として新潟港の水深がだんだん浅くなり、川口の深浅も増水毎に大きく変動し、入港船舶の危険がますます増大したので、専任の水先案内者を置く必要が生じてきて、寛政年間には廻船問屋年行事は新潟港の水戸教の事業を港口のことに詳しい伊藤仁太郎に委嘱した。

安政五年、新潟に遊んだ江戸の儒者、寺門静軒著「新潟富史」中には日和山のことが記されているが、それによると「日和山は市街北方の小丘陵で頂上は十数人をいれる位の狭さで、三面手摺りを設け船見梯子を立てている。番人が代る代る梯子を登って遠眼鏡で来港船舶を監視して、その船印しを見てそれを廻船問屋に報告したもので、この丘はすこぶる眺望よく西に佐渡の島山を望み、付近の松の翠は掬すべきものがあり、東方には羽州の山々、南には弥彦山の方から信濃川が悠々と流れきたり画のような佳景である。」ことをのべている。

幕末から明治に入ってからの日和山の変遷については、明治十八年に刊行された岡田有邦著「新潟繁昌記」によると、明治十三年八月の大火で日和山の櫓も神社も焼失したので、関係者は北方の海岸砂丘上に日和山を移すことを計画し、五十余段の石の階段を設け、松の樹の生えている砂丘上を整地して船見櫓を設け、料理店を建てて新潟港の展望台を作った。これが明治、大正から昭和にかけての新潟名所日和山で、その料亭では酒食のほかに甘党のために団子をきよう応したので団子茶屋とも呼ばれ市民に親しまれてきた。

初日の出をタワーで

先着700人に開運小判

日本海タワーでは昭和49年の初日の出をご覧いただこうと、皆さんのおいでをお待ちしています。

とくに、元旦の入場者先着700人の方（当日大人券購入者に限ります）に1974年寅年にふさわしい開運小判を進呈します。

—日本海タワーの営業時間—

▶1月1日　午前6時半より午後5時まで（初日の出は午前7時）

▶2日以後は平常通り午前9時より午後5時まで

医療従事者の届出

1.調査時	昭和48年12月31日現在
2.対象者	医師、歯科医師、薬剤師（未従事者も含む） 歯科衛生士、歯科技工士（業務従事者のみ） 保健婦、助産婦、看護婦 准看護婦（業務従事者のみ）
3.提出期限	昭和49年1月15日(月)まで
4.提出先	医師、歯科医師、薬剤師は住所地の保健所 歯科衛生士、歯科技工士、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦は就業地の保健所

なお、届出用紙等について不明の方は東・西保健所にご連絡下さい。

注　各法律および施行規則に基づいて届出義務があります。

「新潟市の景気動向はどう変る」

12月分景気動向調査のお願い

企業経営には景気の動向を知り、適切な対策をたてることが必要です。

市内の景気動向を把握し、業界発展の基礎資料とするため、下記のとおり景況調査を実施します。

対象企業には調査票を郵送しますので1月10日までに、ご返送くださるようご協力をお願いします。

●対象企業　卸売業　250社
　　　　　　小売業　515社
　　　　　　製造業　250社
　　　　　　　計　1,015社

●調査方法　郵送調査

●締め切り　49年1月10日

市商業観光課

工業調査にご協力を

工業統計調査が、12月31日現在で全国一せいに行なわれます。

この調査は、わが国製造業の分布状況や、製造業活動の実態を明らかにしようとするものです。

調査結果は各方面から広く利用されます。

この調査のため、12月21日ころから、調査員が製造業に該当する事業所にお伺いしますので、何とぞご協力ください。

調査内容については統計法によりかたく秘密が守られます。

市企画調整課